

会議開催結果概要書

1 審議会等の名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開催日時	令和5年8月10日(木) 14:00 ~
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3階 講堂
4 公開・非公開の別	( 公開 ) ・ 非 公 開 )
5 非公開理由 (非公開の場合のみ)	
6 出席者	委員 8 名、事務局 11 名
7 傍聴人数 (公開の場合のみ)	2 名
8 議題及び審議概要	<p>第1号案件 地域医療支援病院業務報告について ・令和5年度の実績報告(4-6月分)</p> <p>第2号案件 市立岸和田市民病院からのご案内 ・紹介受診重点医療機関の選定について</p> <p>【議事概要】</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 第1号案件 地域医療支援病院業務報告について 令和5年度の実績報告(4-6月分)について事務局より説明。 委員 長：本報告についてご意見ご質問はないか。 委 員：逆紹介について困ったことはないか。患者さんから「まだ市民病院でかかりたいのに、この診療所へかかってくださいなどと急かされる」と聞いたことがある。</p>

事務局：昔であれば市民病院であっても、かかりつけとして長く外来に通院いただいていた。しかし、昨今は病院の機能分担が重要視されている。また当院としても、高度医療・救急医療を市民の多くの皆さんへ提供することに注力しなければならないと考えている。かかりつけの患者さんが増えすぎてしまうと、初診の患者さんや時間をかけて検査・診療を行わなければならない患者さんに注力することが困難になってしまう。そのため、病状の重症度・特殊性などにより当院でフォローする方もいるが、状態が安定している方はなるべく地域の診療所へ逆紹介している。逆紹介の際には、患者さんへ丁寧な説明を心がけるように医師へ指導をしている。岸和田医師会や周辺地域の医師会と連携し、逆紹介を受けていただけるよう協力を賜っている。医師会の先生の専門性、得意疾患なども患者支援センターで把握し、丁寧なご案内をさせていただいているので、ご理解いただければと思う。

副委員長：開業医として病院の機能分担に協力しているところである。例えば、患者さんが救急搬送で市民病院へ搬送され、急性期治療後に地域の診療所へ逆紹介となっても、3ヶ月に1度は病院管理、普段は診療所通院というような連携をとり、不安を払しょくできるよう診療所も努力しているので、ご理解賜りたいと思う。

委員：丁寧に説明していただいているのであれば良い。引き続き、患者さんに納得いただけるような説明努力を続けていただきたい。

事務局：丁寧な説明は引き続き指導していく。また当院は登録医制度を導入しており、普段管理している登録医が診察をした際に病院受診の必要があると判断すれば、ただちに市民病院へ連絡が入り連携できるよう対策をとっている。また、最近では地域連携ネットワークシステムを導入している。患者さんの同意があれば、市民病院での診療記録を開業医ですぐに確認できるようになり、安心して診療を受けていただけるよう努力している。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。

3. 第2号案件 市立岸和田市民病院からのご案内

事務局より令和5年8月1日に紹介受診重点医療機関に選定されたことについて報告。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。

4. その他

委員：市民病院への意見を収集していた。その中の駐車場に関する事で、6月下旬に60人にアンケートを取り、38人から駐車場出入り口（公道から市民病院への出入り口）で事故の危険を感じたことがあると回答があった。現在、警備員を正面玄関前に1人、駐車券の機械付近に1～2人配置されていることと思う。この警備員の配置換え、または増員などの検討をお願いできないだろうか。

事務局：貴重なご意見をいただき、感謝する。警備員の人数の関係もあり、すぐの対応は難しいが、今後の対応策として検討していきたい。

委員長：前向きな検討をしていただけるとのことで、よろしくお願ひしたい。本案件について、他にご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。

委員：産科の稼働率ほどの程度か。

事務局：他診療科と共通の病棟になるが、60%前後の稼働率。お産は150件/年程度である。

委員：それは多いのか。

事務局：少ないと考える。以前は700～800件/年の時もあったが、少子化の影響もあり減少しての推移と考える。

委員：派遣元の大学は垣根を越えて来てもらっているのか。

委員：大阪公立大学から来ていただいている。医師不足はなく、十分な数の優秀な医師を派遣していただいている。数が少ないのは、岸和田市の人口自体の減少

と出生率の減少との影響があると考える。

委員：女性センターは、まだあるか。

事務局：2階東病棟が女性専用病棟となっている。女性外来は無くなっている。産婦人科外来に関して、病棟看護師と連携して相談を受け付けているので、安心して来院していただきたい。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。

委員：外国人の患者さんについて、前回、言語の問題について質問し回答を頂いた。言語以外の問題についてはどうか。

事務局：現在、院内に対応専門部署は存在しない。今後、増加していけば検討しなければならないと考えるが、現在コロナの影響も残り外国人旅行者の患者数は少ない。岸和田在住の外国人は企業勤めの方で、企業の方と一緒に来院いただいていることもあり、大きな問題の報告はない。

事務局：現在のところ、保険や医療費について相談となれば、在籍企業の方を交えての個別対応になる。

委員：対応できているのであれば良いと思う。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。

委員：今夏、大変な暑さが続き、熱中症の患者さんが多いと思う。コロナウイルス感染症も落ち着いてはいないと思うが、搬送の現場としての感覚はどうか。

委員：ご質問の通り、昨年を上回る勢いの上場率である。昨年比ですでに300件以上増えており、過去最高の出場件数になると予想される。コロナウイルス感染症については、搬送時に検査を実施する必要がなくなったため詳細は不明であるが、搬送している発熱患者は熱中症の疑いもあるが、コロナ罹患患者も多いと考えている。救急隊の感染対策は、コロナウイルス感染症が5類に変更になっているが、2類時から変更していないため安心していただきたい。毎年夏になると、高齢者の熱中症搬送要請が多い中、

	<p>ヘルパーが訪ねた際ポストに新聞や広告が溜まっており、通報を受けて駆け付けると亡くなっているケースが増えている。地域で見守りの体制をしていると少しでも減らせるのかと思うので、ご協力いただければと思う。</p> <p>副委員長：開業医から見ても、コロナウイルス感染症患者は増加している。大阪府医師会が独自集計を続けており、府内6000の診療所が発熱患者の診療をしており、400の協力医療機関が毎日集計し、最近では平均1200人/日を超える陽性報告がある。かつてのモニタリングで言うと、間違いなく黄色信号並みの感染拡大状況である。今後、祭礼でのクラスター発生を懸念しており、町会からも注意喚起を行っていただければと思う。</p> <p>委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。</p> <p>各委員：なし</p> <p>委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。</p> <p>委員長：その他の案件や、ご意見ご質問はないか。</p> <p>各委員：なし</p> <p>委員長：案件なしとのことで、これにて議事を終了する。</p> <p>事務局：令和5年度第3回委員会は令和5年11月9日（木）に開催を予定している。</p> <p>5. 閉会</p>
9 そ の 他	